

「安全・改革・貢献」—安全を第一に、改革をおこたらず、社会に貢献する—

トラック広報

情報
NOW

2020

10

令和2年10月15日発行(毎月1回15日発行)(通巻682号) No. 682

活躍する 若手ドライバー



株式会社 多丸
森山享佑さん

》CONTENTS

- 特集 活躍する若手ドライバー
- 常任理事会等関連会議を開催
- 公明党大阪府本部へ 令和3年度 税制改正・予算に関する要望書を提出!
- 一般社団法人近畿トラック協会 第8回定時総会
- 令和2年度ヒューマンエラー防止セミナー
- 引越基本講習を開催
- 引越管理者講習を開催
- トラ坊のご存知ですか?
厚生労働省委託事業 「就職氷河期世代の方向けの短期資格等習得コース事業」
～トラックドライバーになるための運転免許取得支援プログラム～
- その他

》今月のお知らせ

- 令和2年度 整備管理者選任前研修の実施計画
- 事業主の皆さま、労働保険の成立手続はお済みですか?
- その他

》今月の挟み込み

- ◇ 安全運転実践目標
- ◇ 「標準的な運賃」の普及・活用セミナー開催のお知らせ(再掲載)
- ◇ 臨時総会議事録のご送付について
- ◇ 「全ト協表彰規程による表彰」について
- ◇ 厚生労働省委託事業「就職氷河期世代の方向けの短期資格等習得コース事業」
～トラックドライバーになるための運転免許取得支援プログラム～説明会の開催について(ご案内)
- ◇ 令和2年度 ヒューマンエラー防止セミナーの開催について(ご案内)
- ◇ 令和2年度 居眠り運転事故防止セミナーの開催について(ご案内)
- ◇ 荷役作業安全ガイドライン講習会のご案内(再掲載)
- ◇ 「コロナに負けないメンタルヘルスセミナー」開催のご案内(再掲載)
- ◇ 「安全衛生推進者養成講座」開催のご案内
- ◇ 「口から始めるストレス対策セミナー」開催のご案内 ～衛生管理者・安全衛生推進能力向上講習会～

(同封)各種案内3種



一般社団法人 大阪府トラック協会
OSAKA TRUCKING ASSOCIATION



活躍する—— 第5回

若手ドライバー



もりやまきょうすけ
森山享佑 さん

株式会社 多丸
(河北支部)



今年の夏も西日本を中心に集中豪雨や台風による自然災害に見舞われました。厳しい残暑も過ぎて、秋の暖かい日差しが心地良い季節になってきましたが、今回は爽やかな秋の気候のようなあたたかい雰囲気の中で、後輩の指導をされながら笑顔で日々ご活躍されている株式会社多丸の若手ドライバーの森山享佑さん(33歳)に密着取材を行いました。

COMPANY PROFILE

株式会社多丸(河北支部)

創業：1966年(昭和41年)

代表者名：森山忠明

従業員数：10名

ドライバー数：7名(女性ドライバー：1人)

ドライバーの平均年齢：40歳

車両台数：8台(大型1台、増トン車4台、4トン車2台、3トン車1台)

輸送地域：近距離中心

運んでいる物：大手製パン向けの原料(菓子パンの中のクリーム類)

特色：安心・安全・笑顔で、感謝の気持ちで荷物を運ぶ



Q:年齢は?

A:33歳です。

Q:ドライバー歴は何年ですか?

A:27歳の頃からトラックに乗り始めて今6年目になります。

Q:お持ちの運転免許は?

A:大型免許を持っています。



Q:運転免許はいつ取得されましたか?

A:普通免許は18歳の時に取りました。中型車まで運転できる普通免許だったので、その後はこちらに入社してから28歳の時に大型免許を取りました。

Q:以前はどのようなお仕事をされていましたか?

A:学校を卒業してから工場で働いていました。

Q:ドライバーになろうと思われたきっかけは?

A:小さい頃から社長でもある父の後ろ姿を見ていて、父親ってすごいなという気持ちがずっとあって、僕も一緒にやっていきたい、同じ道を歩んでいきたいという思いがありました。

Q:トラックドライバーになる前はどのような印象・イメージをお持ちでしたか?

A:良いイメージしかなく、悪いイメージは一つもなかったです。

Q:初めてトラックを運転した時の感想は?

A:最初は3トン車、4トン車に乗っていましたが、子どもの頃から見ていてトラックって乗用車よりものすごく大きいですし、自分にとって特別なものだと思っていました。ですので、実際乗った時は、自分がそのトラックを運転するということが驚きで、怖いという気持ちよりも慎重になりましたね。もちろん乗用車に乗っている時も慎重に運転していますが、やはり大

森山
さんの

日常業務のとある1日

きなトラックに乗るといことで周りの車にも、より注意しないといけないですし、荷主さんの積み荷も積んでいるので慎重になってドキドキしました。

Q:初めてトラックを運転して帰ってきた時に家族からはどのような声をかけられましたか?

A:お疲れ様、お帰りって言われました(笑)。最初なので家族も心配してくれていました。初めて乗った時は社長が助手席に同乗してくれました。

Q:普段どのようなトラックを運転されていますか?

A:いろんなトラックに乗っていますが主に乗っているのは4トン車です。

Q:お休みは何曜日ですか?

A:日曜日がお休みです。

Q:お昼ご飯はどちらでとられていますか?

A:愛妻弁当です(笑)

Q:運転席からの景色はどんな感じですか?

A:トラックによっても違いますが、乗用車から見た景色よりも一段階高いので、乗用車と同じ道でも乗用車とは違った景色が楽しめます。

Q:普段お仕事で運転されていて景色が良い道路や思い出に残っている場所は?

A:海沿いですかね。近辺で言うと阪神高速の神戸のあたりや須磨のあたりですね。あとは山の中とかも。自然を感じられる景色は心が穏やかになるというかホッコリとします(笑)

Q:普段運転されていて気を付けていることはありますか?

A:死角とかはもちろんですけども、やはり荷主さんの荷物を運んでいるので荷崩れとか破損がないように積み荷を意識して運転しています。

Q:トラックの運転に慣れるまでにどれくらいかかりましたか?

A:毎日乗っていたので1か月ぐらいでは慣れました。

Q:運行管理者の資格はお持ちですか?

A:勉強して先月の試験を受験しました。手ごたえはありました。

- 7:30 出社
- 7:40 乗務前点呼・アルコールチェック・日常点検
- 7:50 荷主(ソントン様)へ出発
- 8:00 荷主(ソントン様)で荷積み ※配達先(パン屋)へ出発
- 9:00 荷主(ソントン様)で荷積み
- 10:00 荷主(ソントン様)で荷積み
- 11:00 山崎製パン(株)様で荷卸し ※その都度追加対応で電話を受けて配車
- 荷主(ソントン様)で荷積み→パン屋等で荷卸し
- 12:00 帰社 乗務前点呼・アルコールチェック
昼食
- 13:00 事務所でパソコン作業・配車 積み込みリスト作成
- 18:00 終業



Q:最近のトラックの安全装置についてどんな感じですか?

A:乗用車に近くなってきているように感じています。チェンジも入りやすいです。ドライブレコーダやバックアイカメラ等、ドライバーを守る安全装置が増えてきました。

Q:将来自動運転になったらどう思いますか?

A:仕事を取られるのは心配ですね(笑)。自分が一番やりがいを感じているのが人との触れ合いというお客様とのやりとりですが、トラック運送業界にとって大切なのは単純に物を届けることだけじゃなくそういった人とのつながりだと思っているので、そこがなくなるのはどうかとは思っています。

Q:仕事でしてしまったミスで印象に残っていることは?

A:確認不足で積み荷の間違いをしました。

Q:事故をしてしまったことはありますか?

A:プライベートも含めて15年間ずっと無事故でゴールド免許です。

Q:仕事のやりがいや嬉しかったことは?

A:納品先とかで毎日挨拶している中で、納品先のお客様のおばちゃんに僕の笑顔の挨拶がものすごく元気出ると言われたことです。そのおばちゃんが退職される時もたまたま会うことができ、「最後に会えて良かったよ」と言われた時も嬉しかったです。

Q:仕事で苦労されていることは?

A:とっさの判断ですね。何かあった時に自分の考えだけじゃなくて、例えば社長だったらどうやって考えるかなというのを考えるようにしていますが、それをとっさに判断することの難しさですね。

Q:トラックドライバーのお仕事で人にお勧めできるポイントは?

A:生まれた時から車が好きな方にも向いている仕事ですし、一人になるのが好きな方にも向いてい

る仕事だと思えます。

Q:上司や先輩に掛けられた言葉で印象に残っている言葉はありますか?

A:全て吸収するようにはしていますが、一番印象に残っているのは、仕事を始めた当初で不安が多かった時期に、「自分を信じて仕事をやっていきなさい」って送り出された時に「頑張ろう!」という気持ちになったことですね。

Q:入社時と比べて現在の心境の変化は?

A:初めの頃は自分のことだけでいっぱいでしたが、少し心に余裕ができてきて周りを意識しながら仕事ができるようになってきました。

Q:会社の良い所は?

A:みんな仲がいいところです。

Q:会社の福利厚生についてどうですか?

A:今年は新型コロナウイルスで難しいですけど毎年社内でBBQをしたりしています。



Q:会社への不満や改善してほしいことはありますか?

A:不満はないです。ありがとうしかないですね(笑)

Q:普段同僚の方と食事に行ったりすることはありますか?

A:仕事終わりに時間があつた時に夜みんなでご飯を食べに行ったりします。

Q:今後の目標は?

A:まずは運行管理者の資格を取得して、もっとも自分がやれることを増やしていきたいです。いずれは社長を追い抜きたいのですが、難しいので社長に近づけるように頑張っていきたいです。



ちょっと

プライベートについて教えてください

Q:家族構成について?

A:妻と子どもが3人います。子どもは今年13歳の中学生の長女、今年8歳になる小学二年生の次女、今年2歳になる長男です。

Q:趣味は?

A:学生の頃はずっとサッカーをしていました。

Q:休日の就寝時間と起床時間は?

A:子どもが朝早いので休みの日も朝7時8時には起こされますね。夜は子どもが小さいので夜10時には電気を消して寝るようにしています。

Q:休日の過ごし方は?

A:上の子は部活もあつたり、ダンスもやっているのでイベントとかにも一緒に行ったりします。真ん中の子もバレーの少年団に入っていてその送り迎えとか、お父さんしています(笑)

Q:普段よく行く場所は?



A:家族で買い物に行くことが多いです。近辺とか子どもたちが流行りに敏感なので大阪市内の方に行ったりします。

Q:好きな食べ物は?

A:米です(笑)

Q:子供の頃の夢は?

A:サッカー選手になりたかったです。

Q:今一番ほしいものや最近買った高いものは?

A:今は賃貸のマンションに住んでいるのでマイホームが欲しいので目標にして働いています。最近買った高いものはマイカーで、BOXYを買いました。

Q:今行ってみたい場所は?

A:子どもを連れて家族で沖縄に行きたいです。

Q:好きな女優さんは?

A:あびる優さんが好きです。

— 奥様には内緒にしておきますね(笑)

将来ドライバーを目指される方へのメッセージ

休みが少なく重労働といったイメージのある運送業ですが、皆さまのライフラインを支える重要な役割をしています。パソコン・スマホで何でもできる時代ですが、人の生活がある限り、ものを動かす物流の必要性がなくなることはないと思います。人との触れ合いを通してやりがいを感じられる仕事だと思えます。日本の物流と一緒に支えていきましょう!



「迅速」、「丁寧」、「感謝」をモットーに笑顔と安心を提供する

Q:社長の経営方針についてお聞かせください
お客様の最終手段である我々運送会社は、縁の下の力持ちとして、お客様が困ったことがあれば一切断らず必ず実行するというのが私の考えです。

Q:地域社会への貢献について

一番は、昔からお付き合いがある(株)宮田運輸さんがされている事故防止のプロジェクトの「子どもミュージアム」へ一緒に参加させていただいていることですね。きっかけは2年ほど前にイライラしながら運転している時があって、ふと見た時に前に「子どもミュージアム」で子どもさんが描いた絵がラッピングされたトラックが目に入って、心が穏やかになったことがありました。

今のところ1台ですが、もうすぐ2台目が完成予定で軽四の車両にも少しラッピングをする予定です。

荷主さんにも関心を持っていただいて、どういふものか尋ねられた時には「今はあおり運転

が多いので、事故を少しでも無くそうという気持ちで、子ども達の描いた絵を背負っていると運転手も気持ちが優しくなり、常に子ども達への想いやお届けする商品も大事にしながらドライバーは運転しています」とお話しています。

Q:従業員とのコミュニケーションはどのようにとられていますか？

今年はコロナ禍で中止となりましたが、年一回夏に、暑い中仕事している従業員の納涼も兼ねて小さい子供とか家族も連れてきてもらって、たまに荷主の若い営業の方も参加して頂いて、会社の敷地でみんなでワイワイB B Q大会をしています。

Q:女性ドライバーはいらっしゃいますか？
立派で男前なトラガールが1人います(笑)

Q:森山享佑さんのお仕事ぶりについて

6年目になりましたが、本当に毎日、人一倍よく頑張っていると思います。周りから社長のジュニアって言われたり社長の息子という見方をされたり辛いこともあると思いますが、その中で本人もプレッシャーの中なんとか耐えて前向きに頑張ってくれています。

Q:今後の森山享佑さんに期待することは？

親父という見方から社長という見方になってしまったので、気を遣いすぎている部分があって、一歩控えながら意見を言うように



森山 忠明 代表取締役社長

なってきたので、遠慮することなく自分のやりたいことを率先して実行してやってほしいですね。若い子がアイデアをどんどん出して若い力で盛り上げてほしいと思います。

Q:社長にとって従業員とは？

「家族」ですね。少人数でやっていますし、従業員みんなで仕事をしているので「大切な家族」だと思っています。

Q:森山享佑さんへのメッセージをお願いします

常に笑顔なので人に好かれているのはありがたいことで、そこは変えずにいろんな人と出会って、いろんなことを吸収してほしいというのが一番の願望です。

笑顔は彼が持っている良い個性の一つですが、将来幹部を目指す上では、笑顔だけではなく自分の思ったことをはっきり言うことも大事にしていってほしいと思います。長に立つとなればまた一つ違うので、優しさも合わせて厳しさも持ちながら判断できるようになっていかなければ社員はついてきてくれないですし、馬鹿にされてもだめだし、これからはどういふ風に人をまとめられる人間になるかということを意識しながら、さらに成長していってほしいと思います。



1台目のラッピング車



もうすぐ完成予定の2台目のラッピング車用の絵画

先輩からひと言

ドライバー主任
中村 加奈子 さん



私の弟と同じくらいの年なのですが、私が結構怒るタイプで、初めの頃はガッツリ怒られてへこんだりしていました(笑)。リフトの乗り方とかでも怪我をしてからでは遅いので、

リフトを高く上げたまま動かしていた時に「危ないやんけ! ひっくり返ってしまうぞ!」とか(笑)。けど、いろいろなことを吸収していくし、飲み込みは早い方で、優秀な子ですね。



森山さんの後輩

川原 勝成 さん
(25歳・ドライバー歴1ヶ月半)



Q:ドライバーになってどれくらいですか？

A:今1ヶ月半で、大型免許取得を目指して教習所に通っています。大型車の運転は怖いって気持ちと、周りを見て慎重に運転しなければいけないと思うので頑張っていきたいと思っています。

Q:運送会社のイメージは？

A:初めて運送会社に入らせていただいて、入社する前は運転して行くだけという勝手なイメージだったのですが実際勤めてみて、思っていた以上に細かいというかしっかりとものをみて働かなければいけないという、良い意味でのギャップを感じました。



Q:森山さんはこんな先輩

A:1から10まで教えて頂いて、享佑さんのようなドライバーを目指していきたいです。目標となる存在です。

Q:今後の目標は

A:早く大型免許を取って会社の皆さんの力になれるよう頑張っていきたいと思っています。

【編集室から】

お客様に愛されるような素敵な笑顔で日々頑張っておられる森山さんは、とても明るくて元気にハキハキと業務をされていて、優しさに溢れた素敵な若手ドライバーさんでした。お仕事のやりがい・嬉しかった事はお客様からかけられた言葉とのことですが、お客様と信頼関係を結ばれ、お客様からあたたかい言葉をかけられているその光景が思い浮かびました。子どもミュージアムプロジェクトの子どもたちが描いた絵のラッピングトラックを運転されていますが、今回森山さんの運転するトラックを後ろから密着取材させていただいた際も、目の前に映る子どもたちの描いた絵に穏やかな気持ちになりました。先輩ドライバーの川原さんの指導をされながら先輩ドライバーとしてこれからさらに成長され、将来は会社を背負って活躍されていく森山享佑さんに期待しています。(株)多丸の皆様、お忙しいところ取材にご協力いただきありがとうございました。

